令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	1	1	青少年健全育成と家庭教育	青少年健全育成の充実
実施計画事業名					
放課後子ども教室推進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	12	放課後子ども教室推進事業
担当課・係等				
生涯学習課生涯学習係				

実施計画整理番号	
105010102	
総合戦略整理番号	22301

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
夏休み期間中の子どもの安全・安心な居場所づくりと異年齢交流、地域教育力の活性化を目的に夏休み子ども教室を開催する。また、放課後子どもﾌﾟﾗﾝ運営委員会において事業の検証を行い、開催校を順次増やすことで推進を図る。	・夏休み子ども教室の開催校を増やす。 ・放課後子どもﾌﾟﾗﾝ運営委員会の開催（年2回）。 ・コーディネーターの育成のため各種研修会に参加する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

夏休み期間中の子どもの安全・安心な居場所作りと異年齢交流、地域教育力の活性化を目的に夏休み子ども教室を開催することで、施策「青少年健全育成の充実」に寄与する。

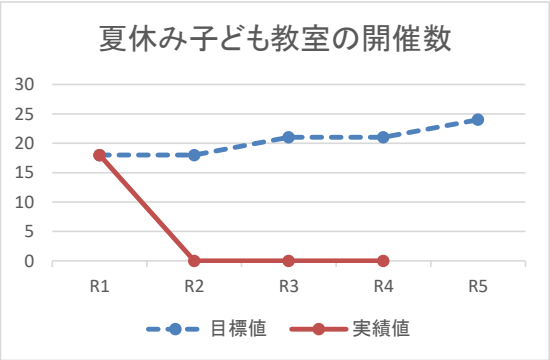
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費		千円	377	369	0	425	425	112			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	377	369	0	425	425	112			
人工数		人	0.45			0.5					
人件費		千円	3,403			3782					

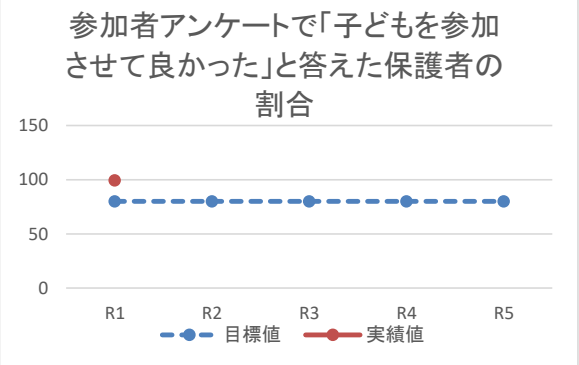
手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
夏期休業期間中に「夏休み子ども教室」を開催する。	夏休み子ども教室の開催数	回	目標値	18	21	21	21
			実績値	0	0	0	
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
夏休み期間中の子どもの居場所づくりや異年齢交流、地域教育力の活性化が図られる。	夏休みこども教室参加者アンケートで「子どもを参加させて良かった」と答えた保護者の割合	%	目標値	80	80	80	80
			実績値	—	—	—	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	5	1	1	放課後子ども教室推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	12	放課後子ども教室推進事業

整理番号
105010102

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

実施に向け、地域コーディネーターとの会議等準備を進めていたものの、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を勘案し、全校で中止となった。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B：必要性が認められる	**B：有効性が認められる**	**C：効率性について検討が必要である**

総合評価

D：実施していない・実施できなかった

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

放課後子ども教室は参集型のイベントでありオンラインでの実施が不可能であることから、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によっては中止とせざるを得ない。
また、近年の酷暑により、夏期休業期間中に行うことは参加者の熱中症リスクの上昇につながり、図書室等の冷房を備えた会場のみでの実施とすると、運動等の活動ができないため活動内容に大きく制限を受ける。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑥その他**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」となるが、酷暑の問題を解決する必要がある。今後は、放課後子どもプラン運営委員や、子ども教室コーディネーターと協議し、夏期休業期間外での活動について検討する。

企画政策課の評価		評価理由
C	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	子どもの安全・安心な居場所づくりや地域教育力の活性化に資する事業と認められる。一方で本来の事業目的や近年の状況を鑑みると実施方法の見直しが必要と考える。引き続き、関係団体との十分な協議に努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	1	2	青少年健全育成と家庭教育	青少年健全育成の充実
実施計画事業名					
青少年相談指導事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	04	01	適切な環境づくりと非行防止事業
担当課・係等				
青少年指導センター				

実施計画整理番号	
105010201	
総合戦略整理番号	

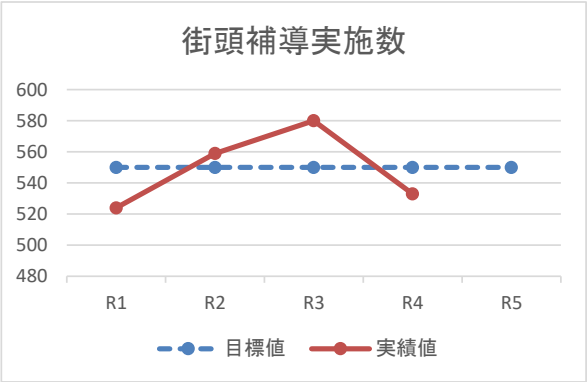
事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	茂原市青少年補導員連絡協議会と連携し、街頭補導、相談事業、青少年に有害な社会環境の浄化活動、啓発活動、児童生徒の安全を確保する活動を推進し、青少年の健全育成に努める。	・夜間の街頭補導を充実する。 ・列車補導、県下一斉パトロール等の啓発補導を充実する。 ・他支部との連携や研修会へ補導員とともに積極的に参加する。 ・相談体制を整え、相談事業をより充実する。 ・ネットパトロールを充実する。 ・早朝、薄暮等の登下校時のパトロールを充実する。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	青少年を取り巻く環境が急激に変化する中において、青少年が健やかに成長していくためには、地域社会全体で青少年を支えていく環境の整備が必要である。青少年指導センターは、学校や地域、関係機関と連携して補導活動や相談活動、啓発活動に努めることで、青少年の安全確保や非行防止、自立支援につなげ、ひいては施策「青少年健全育成の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO） 区分		単位	令和3年度 計画	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 計画	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算
事業費		千円	1,362	1,530	1,509	1,243	1,335	1,361			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	250	250	250	250	250	250			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,112	1,280	1,259	993	1,085	1,111			
人工数		人	5.90			5.90					
人件費		千円	25,915			25,915					

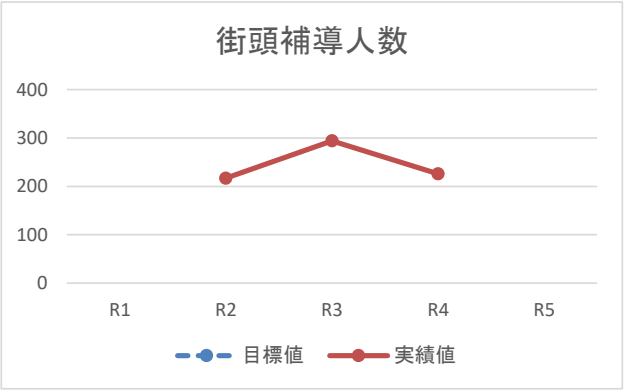
手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
年間を通して、早朝・午前・午後・薄暮・夜間にパトロールや街頭補導を実施することで、青少年の安全確保や非行防止に努める。	街頭補導実施数	件数	目標値	550	維持します	維持します	維持します
			実績値	559	580	533	
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
パトロールや街頭補導の推進により青少年の安全確保や非行防止ひいては青少年の健全育成につなげる。	街頭補導人数	人	目標値		減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
			実績値	217	294	226	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	5	1	2	青少年相談指導事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	04	01	適切な環境づくりと非行防止事業

整理番号
105010201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・青少年補導員連絡協議会や茂原警察署と連携して茂原駅周辺のパトロールや補導を継続的に行うことで、青少年の安全を確保することができた。
・各機関と協力して相談活動を行った。継続的に面談を行い、必要に応じて千葉県警外房地区少年センターや茂原警察署等の関係機関に橋渡しすることで、青少年やその家庭に適切な支援を施すことができた。
・ネットパトロールの実施回数を昨年度より増やし、パトロールの手法を他市より学び活動の強化を行った。SNSに児童生徒の問題がある投稿があった場合は、所属学校にその情報を提供することでトラブルを未然に防ぐことができた。
・児童生徒へ広報紙「くす」やクリアファイル「スマホの正しい使い方」を配付することで、非行防止や交通安全、不審者対策、スマホの正しい利用等生活に密着することについて啓発することができた。
・「わが街ガイド」の不審者情報を随時更新することで、市民に不審者情報を周知することができた。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・全国的に少年犯罪は減少傾向にある。しかし、ネットやスマホの普及により青少年の生活様式が変化しており、行動を把握することが難しくなっている。
・登下校時の児童生徒の安全を確保する活動の中で、児童生徒の交通ルール、特に自転車の並進の注意が多くあった。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・巡回やネットパトロールを行うなかで、軽微な変化を見逃さず、関係機関との情報交換を密にしていくことで、重大事件を未然に防いでいく。
・交通ルールや正しい自転車の乗り方について、広報紙「くす」等で啓発していくとともに、学校への協力も要請していく。ヘルメットの着用が努力義務化されたことについても啓発していく。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	本事業は、青少年の健全育成に資する事業と認められる。引き続き、関係機関との連携を図り、より効果的な事業実施に努めるとともに、情報発信の強化を図っていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	2	1	青少年健全育成と家庭教育	家庭教育の充実
実施計画事業名					
家庭教育学級開催事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	03	家庭教育学級開催事業
担当課・係等				
生涯学習課社会教育係				

実施計画整理番号	
105020101	
総合戦略整理番号	22101

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
幼児・児童の保護者を対象に、子育てに関する知識や情報を提供する各種講座を開催し、子どもの健やかな成長の一助とする。	3歳児の保護者を対象に「幼児期家庭教育学級」、就学を控えた児童の保護者を対象に「就学時子育て講座」、幼稚園児・小学生の保護者を対象に「家庭教育学級」を開催する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

家庭教育の重要性に鑑み、子育てに関する啓発及び相談の場の提供は切れ目なく行っていく必要がある。本事業は、子どもの発達段階に応じた講座を提供することで、施策「家庭教育の充実」に寄与している。

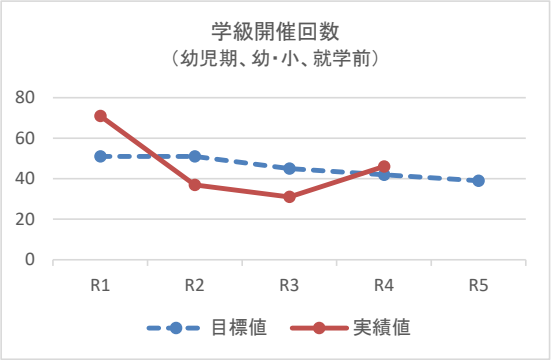
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費		千円	631	631	228	595	595	291			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	631	631	228	595	595	291			
人工数		人	1.05			1.05					
人件費		千円	3,218			3218					

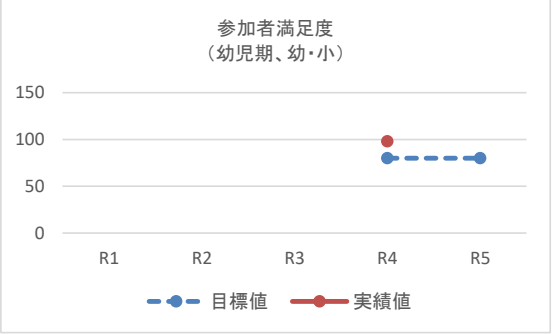
手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
子どもの成長段階に応じた学級を開催することにより、切れ目のない家庭教育支援を行う。	開催回数（幼児期、幼・小、就学前）	回	目標値	51	45	42	39
			実績値	37	31	46	
	1回あたり参加人数（幼児期、幼・小、就学前）	人／回	目標値	30	30	30	30
			実績値	17	18	23	

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
情報の提供及び繋がりの場の提供により、家庭教育の充実ひいては子どもの健全育成につなげる。	参加者満足度（幼児期、幼・小）	%	目標値	－	－	80	80
			実績値	－		97	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	5	2	1	家庭教育学級開催事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	03	家庭教育学級開催事業

整理番号
105020101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

3歳児の保護者、就学を控えた子どもの保護者、幼稚園児・小学校児童の保護者と、子どもの成長段階に応じて講座を開催することにより、家庭教育に関する情報提供を切れ目なく行っている。また、情報提供のみならず保護者どうしの繋がりづくりにも貢献している。
・幼児期（3歳児）家庭教育学級・・・計画していた全5回のうち3回実施し、延べ30人が参加した。中止した2回のうち1回はオンラインで配信した。
・幼・小家庭教育学級・・・14学級（幼稚園1園、小学校13校）で31講座実施。504人参加。
・就学時子育て講座・・・12小学校で実施。510人参加。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	B：効率性が認められる

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・幼稚園家庭教育学級は市立幼稚園に通う児童の保護者を対象としており、私立幼稚園児や保育園児の保護者に対しては同様のサービスを提供できていない。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑥その他

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

子どもを保育所に預ける保護者は日中仕事に従事しており、教室への参加が難しいと考えられるため、動画配信等による情報提供を検討する。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	本事業は子育てに関する知識や情報及びつながりの場を提供することで、子どもの健全育成に資するものと認められる。全ての保護者に対して情報提供できるよう、オンライン配信などの実施に努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	6	1	1	国際化	国際化の推進
実施計画事業名					
国際化推進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	02	国際化推進事業
担当課・係等				
企画政策課　男女共同・国際化係				

実施計画整理番号	
106010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
多くの市民が国際交流活動に参加し、国内外の多様な文化や価値観を受入れ、国際的な観点で物事を考えることができる国際感覚を身に付ける。また、外国人市民と日本人市民が、お互いの価値観や文化を尊重し合い、安全安心に暮らすことができる。	姉妹都市ソルズベリー市等との交流事業を実施し、市民の参加機会を提供するとともに、異文化理解促進のための情報発信を行う。また、国際交流協会との協働により、在住外国人向けの生活支援講座および交流イベントの開催や、多言語での情報提供を行うとともに、多文化共生社会について等の啓発のための情報発信を行う。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

・姉妹都市交流等を通じて市民が国際交流に参加できる機会を提供し、また、国際交流協会への支援を通じてより多くの交流機会を創出することにより、施策「国際化の推進」における「国際交流活動の推進」に寄与する。
・在住外国人が安全安心に暮らすための支援をするとともに、日本人市民が異文化を理解するための機会を提供することにより、在住外国人施策「国際化の推進」における「多文化共生社会の実現」に寄与する。

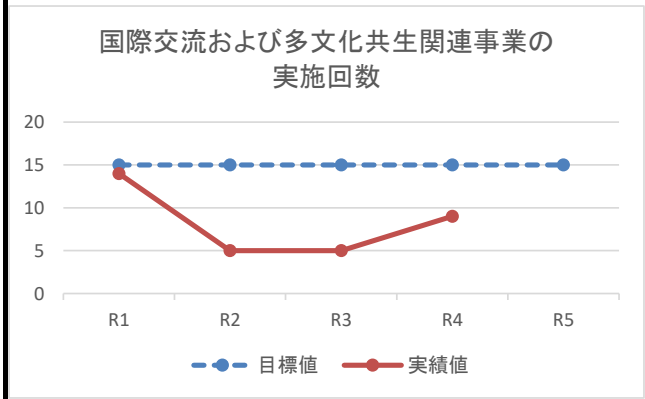
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度 計画	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 計画	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算
事業費		千円	3,243	3,243	547	3,540	3,848	3,423			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	3,142	3,142	420	3,440	3,748	3,323			
	一般財源	千円	101	101	127	100	100	100			
人工数		人	1.15			1.15					
人件費		千円	8,697			8697					

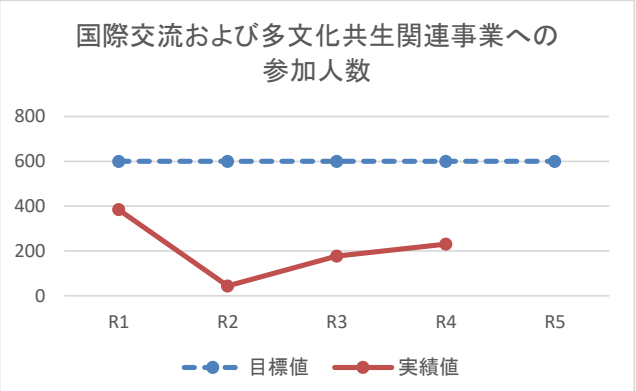
手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
姉妹都市等との交流事業や在住外国人向け生活支援講座、交流イベントを開催し、市民が参加できる機会を創出し、広く周知するとともに、異文化理解促進および多文化共生社会について等の啓発のための情報発信を行う。	国際交流および多文化共生関連事業の実施回数	回	目標値	15	15	15	15
			実績値	5	5	9	
	参加機会の周知および啓発のための情報発信	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	1	1	3	

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
姉妹都市等との交流事業や在住外国人向け生活支援講座、交流イベントに多くの市民が参加できる機会を提供し、ひいては国際感覚や多文化共生の価値観の醸成につなげる。	国際交流および多文化共生関連事業への参加人数	人	目標値	600	600	600	600
			実績値	44	177	231	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	6	1	1	国際化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	02	国際化推進事業

整理番号
106010101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・ソルズベリー市との友好を図るため、姉妹都市提携20周年記念誌を作成した。（600部）
・ソルズベリー市との友好を図るため、記念品交換を実施した。（西中千人先生作「呼継」）
・国際交流協会と協働し、外国の言語・文化理解を深めるため、外国語教室（英会話）をオンラインで実施した。（参加者延84人）
・国際交流協会と協働し、アメリカ合衆国カリフォルニア州出身のALTアーロンマーキス先生による、アメリカの文化などを紹介する講演会を実施した。（参加者22人）
・国際交流協会と協働し、在住外国人向けの防災対策講座を実施した。（参加者29人）
・国際交流協会と協働し、協会設立10周年記念式典・祝賀会を開催した（参加者39名）
・国際交流協会と協働し、外国人との交流及び日本文化を学ぶ事を目的とした視察研修を実施した（参加者15人）
・国際交流協会と協働し、元JICA・現松戸市国際親善大使の久保山三香代先生による、当時の赴任先セネガルでの生活等を紹介する講演会を実施した（参加者42人）

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	**B：有効性が認められる**	**B：効率性が認められる**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い各国紹介・外国人向け講座・視察研修などの事業を実施し、ある程度の成果を挙げることが出来た。
・外国語教室（オンライン）について、最小催行人数を満たせず実施出来なかった教室について、見直しをする必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑤更なる事業の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・在住外国人の方達の生活に密着した講座等、多文化共生社会の実現に向け的確にニーズを把握し事業内容を検討するとともに、在住外国人や訪日外国人の方達に対し、やさしい日本語や多言語を活用し、日本人と同じレベルの情報を迅速に発信し、社会で孤立する事が無いように行政として努める。
・外国語教室については、周知回数を増やす、広報誌等で授業の様子を掲載するなどして、興味を持ってもらえるように努める。また、新型コロナウイルス感染症流行以前のように、対面での開催に戻すことも検討する。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	市民の国際感覚や多文化共生の価値感の醸成に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き活動内容等を効果的に発信し、更に多くの市民等の機運醸成に努めていただきたい。また、在住外国人等の生活におけるニーズを的確に把握し、多文化共生社会の実現につなげていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	3	1	学校教育	教育環境の整備
実施計画事業名					
小学校施設整備事業（本納地区小中一貫型校）					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	01	02	小学校管理補修費
9	02	03	01	小学校施設整備事業
9	03	01	02	中学校管理補修費
担当課・係等				
教育総務課総務係				

実施計画整理番号	
102030102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
本納中学校敷地内の新校舎（8教室及び配膳室）の建設に際し、必要となる設備を整備することで、児童生徒の安全性や快適な学習環境の確保につなげる。 　また、小中一貫教育の導入を進めていくことで、特色ある教育を目指す。	新校舎を建設し必要となる遊具や体育器具等を設置する。また、駐車場やグラウンド等を整備し教育環境の改善を図る。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

本納中学校敷地内に本納小学校新校舎を建設し、必要となる設備を整備することで、児童生徒の安全性の確保や快適な学習環境の確保に繋がり、ひいては施策「教育環境の整備」に寄与する。

投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費		千円	72,696	91,871	73,786	0	14,113	10,720			
財源内訳	国補助	千円		2,343	1,648						
	県補助	千円	0	0							
	市債	千円	40,100	40,100	35,300						
	その他	千円	0	0							
	一般財源	千円	32,596	49,428	36,838	0	14,113	10,720			
人工数		人	1.3			0.95					
人件費		千円	6,525			5,768					

手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
校舎建設や施設整備を実施することで、児童生徒の安全性の確保や教育環境の改善に努める。	・校舎の建設 ・必要となる設備等の整備		目標値				0
			実績値				
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
施設整備を実施することにより児童生徒の安全性の確保ひいては教育環境の充実につなげる。	・児童生徒の安全性の確保 ・教育環境の改善		目標値				
			実績値				

活動指標の動向	成果指標の動向

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	3	1	小学校施設整備事業（本納地区小中一貫型校）

予算科目				
款	項	目	事	事業名
999	2020	1030	2010	小学校管理補修費 小学校施設整備事業 中学校管理補修費

整理番号
102030102

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

本納小学校の移転に伴い、学区が広範囲にわたり、保護者の送迎の増加により駐車場が混雑し、密となる状況があった。また、令和5年4月1日から新治小学校の統合に伴うスクールバスの導入があり、更なる混雑が想定された。課題解決のため、駐車場の拡張と出入り口の増設を図り、児童生徒の安全性を確保し、密を解消する環境整備に取り組んだ。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	**A：有効性が高い**	**A：効率性が高い**

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・今回整備する駐車場の駐車スペース枠について、多くの駐車台数を確保するため、幅を2.5mで予定していたが、近年は、大きめの普通自動車を使用する方が増えていることから、当該車輌に見合った駐車スペースを確保する必要性が生じた。
・駐車場内のスクールバスの走行ルートについて、児童生徒の安全を確保した走行ルートとする必要があった。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	**⑤更なる事業の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・拡張部分の駐車スペースの幅については、工事担当部署と協議を行い、幅を2.8m確保し、大きめの普通自動車に見合った駐車スペースとした。
・駐車場内のスクールバスの走行ルートについては、スクールバスの車幅等を考慮し、工事担当部署や、工事施工業者と協議のうえ、児童生徒の安全を確保した走行ルートとした。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	児童生徒の安全性の確保や快適な学習環境の確保につながる事業と認められる。引き続き、小通一貫教育を進め特色ある教育のために必要な施設整備等に努められたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	3	1	学校教育	教育環境の整備
実施計画事業名					
小学校施設整備事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	01	02	小学校管理補修費
9	02	03	01	小学校施設整備事業
担当課・係等				
教育総務課総務係				

実施計画整理番号	
102030103	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
老朽化した学校施設について、計画的に改修を行い、安全性の確保及び教育環境の充実を図る。 また、グラウンド整備等を行い屋外教育環境の充実を図る。	施設の改修やグラウンドの整備に伴う設計業務を行い、大規模改修、長寿命化改修、改築などの工事やグラウンド等の整備を実施する。また、工事に伴う監理業務を行う。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

老朽化した学校施設について、計画的に改修やグラウンド整備などに努めることで、児童生徒の安全性の確保や快適な学習環境の確保に繋がり、ひいては施策「教育環境の整備」に寄与する。

投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度 計画	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 計画	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算
事業費		千円					40,678	1,870			
財源内訳	国補助	千円					8,934				
	県補助	千円									
	市債	千円					21,700				
	その他	千円									
	一般財源	千円					10,044	1,870			
人工数		人				2.15					
人件費		千円				10,591					

手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
改修事業等を実施することで、児童生徒の安全性を確保し、教育環境の改善に努める。	・施設等の状況把握 ・長寿命化計画や学校再編実施計画との整合性を考慮した整備		目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
改修事業等の推進により児童生徒の安全性の確保ひいては教育環境の充実につなげる。	・児童生徒の安全性の確保 ・教育環境の改善		目標値				
			実績値				

活動指標の動向	成果指標の動向

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	3	1	小学校施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
99	020	2010	3020	1 小学校管理補修費 小学校施設整備事業

整理番号
102030103

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・エレベーター設置から31年が経過し（法定対応年数は、17年）、製造メーカーの保守部品が令和5年で供給停止となる。当該エレベーターは、給食コンテナ運搬用で毎日使用しており、故障し停止すると学校運営に支障をきたすため、更新する改修工事を実施する。
①令和4年度9月補正予算　二宮小学校昇降機改修工事設計業務委託　4,378千円
②令和4年度12月補正予算　二宮小学校昇降機改修工事　36,300千円
（※②の改修工事については、令和5年度へ繰越し）
※②の工事における国の交付金状況
令和4年度「学校施設環境改善交付金」内定通知書（令和4年9月30日）　8,934千円
令和4年度「学校施設環境改善交付金」交付決定通知書（令和4年11月1日）内定通知額と同額

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・令和4年度9月補正で計上した、設計業務については、計画どおり実施した。
・エレベーターの改修に際し、バリアフリー対応を図るため、荷物用エレベーターから乗用エレベーターへの入れ替えを行う必要がある。
・当該エレベーターは、給食コンテナの運搬用に使用していることから、工事の影響が少ない夏休みを活用した工事を行う必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・バリアフリー対応のエレベーターの導入にあたり、国の交付金として、補助率1／2の学校施設環境改善交付金（公立の小学校の大規模改造事業　障害児等対策施設整備工事）を活用することで、財源確保を図るとともに、障害者に配慮したエレベーターを設置していく。
・令和4年11月に国の交付金の交付決定を受け、同年12月に改修工事の補正予算を要求し、当該年度予算分を繰り越すことで、令和5年度における学校の夏休みを活用して工事を実施していく。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	児童の安全性の確保及び教育環境の充実につながる事業と認められる。引き続き、優先順位を十分考慮するとともに、歳入確保を図りながらの事業実施に努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	4	1	学校教育	教職員の資質の向上
実施計画事業名					
(小)教職員研修支援事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	06	職員研修支援事業
担当課・係等				
学校教育課・指導係				

実施計画整理番号	
102040101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。	・各学校での校内研修会及び茂原市教育研究協議会の実施支援 ・自主グループの育成及び県教委主催研修への参加の促進。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

校内研修や茂原市教育研究協議会において、教育課題に沿った研修の充実を図ることで、幅広い視野をもち児童の実態に対応できるような教職員を育成し、ひいては施策「教職員の資質の向上」に寄与する。

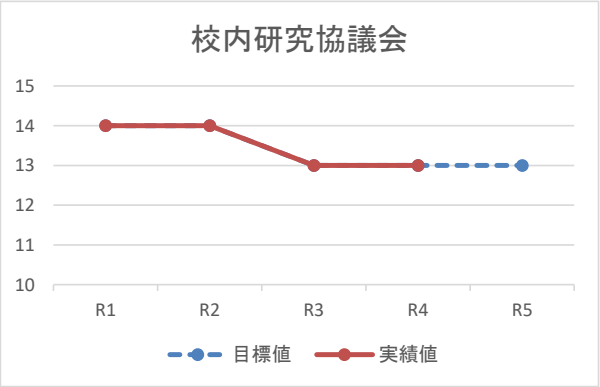
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費		千円	926	926	923	926	932	860			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	926	926	923	926	932	860			
人工数		人	—			—					
人件費		千円	—			—					

手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
各研修会で、教職員一人一人が自ら進んで研修する。	校内研究協議会	校	目標値	14	13	13	13
			実績値	14	13	13	
	茂原市教育研究協議会	部会	目標値	16	16	16	16
			実績値	16	16	16	

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。			目標値				
			実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向

令和

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	4	1	(小)教職員研修支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	06	職員研修支援事業

整理番号
102040101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・教育課題に沿った研修会への参加を促進できた。
・校内研修や小中学校の相互参観等を通して、教職員の資質・能力の向上を図れた。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・各研修会に参加することで、教職員として必要な資質・能力が保持されるとともに、定期的に最新の知識・技能を身に付けることができた。引き続き、教職員としての資質能力向上が図れる体制を整える必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・引き続き、指定校等の授業公開の実施、参観を通して取組の成果を共有するとともに、児童の学力向上や授業改善に向けた取り組みの充実を図っていく。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	教職員の資質向上に資する事業と認められる。引き続き、教職員の資質向上が図れる体制・環境づくりに努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	4	1	学校教育	教職員の資質の向上
実施計画事業名					
(中)教職員研修支援事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	6	職員研修支援事業
担当課・係等				
学校教育課・指導係				

実施計画整理番号	
102040102	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。	・各学校での校内研修会及び茂原市教育研究協議会の実施支援 ・自主グループの育成及び県教委主催研修への参加の促進

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

校内研修や茂原市教育研究協議会において、教育課題に沿った研修の充実を図ることで、幅広い視野をもち生徒の実態に対応できるような教職員を育成し、ひいては施策「教職員の資質の向上」に寄与する。

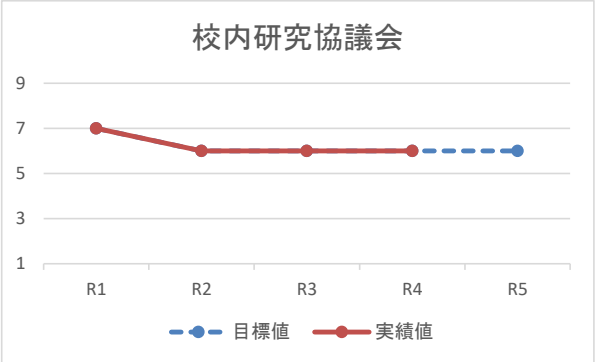
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費		千円	689	689	689	689	689	688			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	689	689	689	689	689	688			
人工数		人	—			—					
人件費		千円	—			—					

手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
各研修会で、教職員一人ひとりが自ら進んで研修する。	校内研究協議会	校	目標値	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	
	茂原市教育研究協議会	部会	目標値	14	14	14	14
			実績値	14	14	14	

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。			目標値				
			実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	4	1	(中)教職員研修支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	6	職員研修支援事業

整理番号
102040102

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・教育課題に沿った研修会への参加を促進できた。
・校内研修や小中学校の相互参観等を通して、教職員の資質・能力の向上を図れた。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・各研修会に参加することで、教職員として必要な資質・能力が保持されるとともに、定期的に最新の知識・技能を身に付けることができた。引き続き、教職員としての資質能力向上が図れる体制を整える必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・引き続き、指定校等の授業公開の実施、参観を通して取組の成果を共有するとともに、生徒の学力向上や授業改善に向けた取り組みの充実を図っていく。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	教職員の資質向上に資する事業と認められる。引き続き、教職員の資質向上が図れる体制・環境づくりに努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	3	1	1	スポーツ・レクリエーション	スポーツ環境の充実
実施計画事業名					
新型コロナウイルス感染症対策事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	06	02	01	施設維持管理費
担当課・係等				
体育課体育館係				

実施計画整理番号	
103010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
熱中症対策の為、地域の体育・スポーツ施設における冷房設備の整備は急務である。 施設の環境整備を図ることにより、利用者の生命・身体の安全を確保し、スポーツ実施率の向上、災害時の避難所としての機能を高める。	新型コロナウイルス感染症対策としての換気を図るとともに、空調機の設置工事を実施する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

施設の環境整備を図り、また感染症対策としての換気機能の向上により、施策「スポーツ環境の充実」に寄与する。

投入される行政コスト（DO）

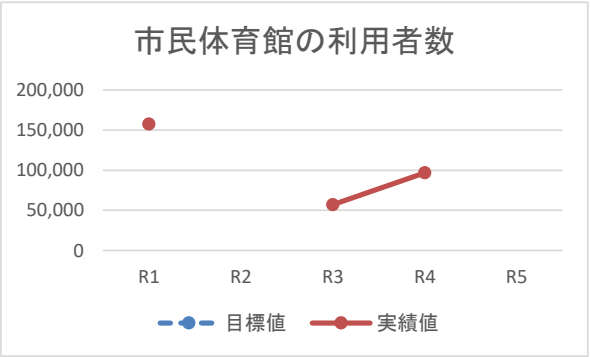
区分		単位	令和3年度 計画	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 計画	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算
事業費		千円		93,368	79,662		148,170	135,709			
財源内訳	国補助	千円		93,368	79,662		148,170	135,709			
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円		0	0						
人工数		人	1.7			1.7					
人件費		千円	9,078			9,078					

手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
空調設備の設置	空調設備を整備し、利用者にとって快適なスポーツ環境をつくる。		目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
快適なスポーツ環境を整えることにより、スポーツ実施率を高める。	市民体育館の利用者数	人	目標値	－	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値	－	57,086	96,662	

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	3	1	1	新型コロナウイルス感染症対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	06	02	01	施設維持管理費

整理番号
103010101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・市民体育館大体育室に空調設備を設置し、スポーツ環境を整えるとともに、感染症対策としての換気機能を向上させた。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・市民体育館大体育室の空調設備設置工事期間において、施設(工事部分)を利用できない期間が生じ、利用者に対し不便をかけたが、特に混乱等はなかった。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
D：事業終了年度に達した	

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・今後も市民体育館利用者の利便性向上に努める。

企画政策課の評価		評価理由
D	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	施設の環境整備を図ることで、市民等のスポーツ実施率向上及び災害時の避難所としての機能強化につながったと判断できる。今後も、適切な維持管理を実施するとともに、利用者等の利便性向上に努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	3	2	1	スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーションの推進
実施計画事業名					
スポーツ教室事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	06	01	02	スポーツ教室事業
担当課・係等				
体育課体育館係				

実施計画整理番号	
103020101	
総合戦略整理番号	32201

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
市民の健康づくり・体力づくりを推進し、健康で明るい活力に満ちた生活の実現を目指す。	基本的な運動技術の習得を目標に各種スポーツ教室を開催する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

市民誰もが日常でスポーツできる環境を整備し、魅力的なスポーツ教室の開催等、スポーツによる健康・体力づくり事業の活性化を図ることで、施策「スポーツ・レクリエーションの推進」に寄与する。

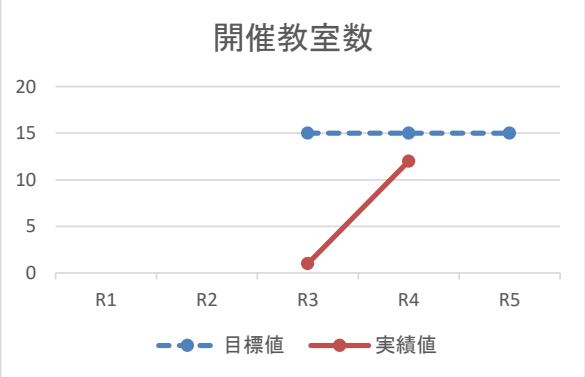
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費		千円	745	745	317	808	603	417			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	745	745	317	808	603	417			
人工数		人	1.2			0.8					
人件費		千円	7,658			5,578					

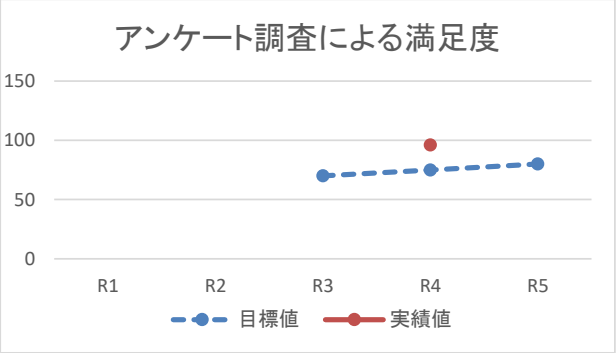
手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
各種スポーツ教室の開催	開催教室数	回	目標値	－	15	維持します	維持します
			実績値	－	1	12	
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
市民が健康で活力に満ちた生活を送る	教室参加者へのアンケート調査による満足度（満足、概ね満足の人数割合）	%	目標値	－	70	75	80
			実績値	－	－	96	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	3	2	1	スポーツ教室事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	06	01	02	スポーツ教室事業

整理番号
103020101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・パラスポーツ教室（10教室）を開催し、344名の参加があった。
・茂原スポーツフェスティバル茂原市ジュニアバレーボール教室を開催し、188名の参加があった。
・市主催教室としては、ダンス教室（1教室計10回）を開催し、20名の参加があった。その他の市主催教室は、新型コロナウイルス感染症感染拡大により開催できなかった。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B：必要性が認められる	**A：有効性が高い**	**B：効率性が認められる**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・茂原スポーツフェスティバル茂原市ジュニアバレーボール教室については、講師数を増やすことにより更にきめ細かい指導ができる。元オリンピック選手のプレーを間近で体感、直接指導を受けることは子どもたちにとってかけがえのない経験であり、より多くの子どもに参加の機会を提供したい。
・市主催教室については、1教室開催できたが、今後も開催内容及び開催方法の検討が必要である。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑤更なる事業の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・茂原スポーツフェスティバル茂原市ジュニアバレーボール教室については、講師の増員を検討するとともに、講師側と児童・生徒数にあった指導内容の協議をしていく。
・市主催教室については、幅広い年齢層に対し、スポーツをするきっかけづくりとなる教室の開催を検討していく。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	市民の健康づくり・体力づくりに資する事業と認められる。引き続き、幅広い世代がスポーツへの意識向上が図られるよう、スポーツ環境の整備に努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	3	2	1	スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーションの推進
実施計画事業名					
スポーツ振興事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
0	60	10	3	スポーツ振興事業
担当課・係等				
体育課体育振興係				

実施計画整理番号	
103020102	
総合戦略整理番号	32202

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
市民が、スポーツに取り組む機会の充実や環境整備を図り、スポーツを行う習慣づくりの意識啓発に努め、スポーツへの関心や意欲の向上が図られることを目指す。また、茂原市体育協会と茂原市スポーツ少年団の組織強化を図り、競技スポーツと青少年の健全育成を推進する。	・従来の市民体育館での事業に加え、小学校体育館を拠点とした事業も実施し、身近な場所で気軽にスポーツに取り組む環境を整備する。 ・もばらタッチバレーボール千葉県大会、ファミリースポーツまつり、スポレク祭、大相撲鎹山部屋ふれあい相撲等を開催する。 ・スポーツへの関心を高めるため大相撲巡業の(仮称)大相撲茂原場所を開催する。 ・体育協会とスポーツ少年団に補助金を交付して支援し、競技力向上のために、体育協会と共催で市民体育祭を開催する。 ・事業実行を行うため定期的にスポーツ推進委員会会議を開催する。 ・スポーツの推進に関する事項を審議するため、スポーツ推進審議会を設置する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

市民スポーツの充実や、スポーツによる健康・体力づくり事業の活性化を図ることで、施策「スポーツ・レクリエーションの推進」に寄与する。

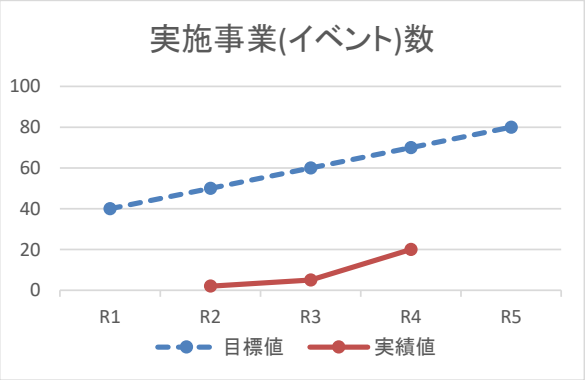
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度 計画	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 計画	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算
事業費		千円	7,382	7,382	2,925	7,382	6,922	5,686			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	7,382	7,382	2,925	7,382	6,922	5,686			
人工数		人	1.7			1.7					
人件費		千円	12,857			12,857					

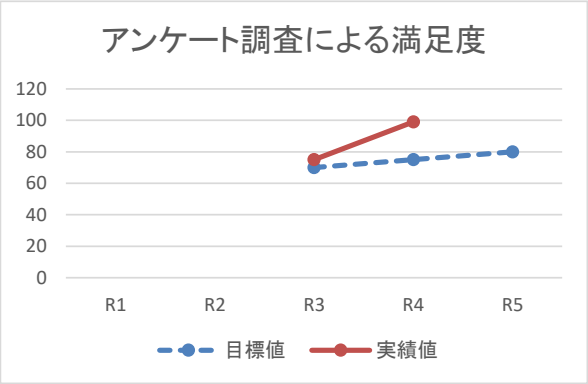
手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
スポーツへの関心や意欲の向上を目的としたスポーツ・レクリエーション事業の実施	実施事業(イベント)数	回	目標値	50	60	70	80
			実績値	2	5	20	
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
市民が習慣的にスポーツに取り組める機会の充実を図り、楽しみながら心身ともに健康でいられる環境をつくる。	事業(イベント)参加者へのアンケート調査による満足度(満足、概ね満足の人数割合)	%	目標値	－	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値	－	75	99	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	3	2	1	スポーツ振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
0	60	10	3	スポーツ振興事業

整理番号
103020102

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・もばらタッチバレーボール千葉県大会の開催
・茂原市スポーツレクリエーション祭タッチバレーボール体験会の開催
・体力・運動能力調査「大人のスポーツテスト2022」の実施
・市内公立保育所においてスーパーキッズ育成カレッジ（運動能力向上教室）の実施（計6保育所）
・レッツエンジョイスポーツ（計7回）、レッツエンジョイウォーキング（計4回）の実施
・体育協会及びスポーツ少年団へ補助金を交付し活動の支援
・スポーツ推進委員の会議において、コロナ禍で実施可能なスポーツイベント等の検討、及び今後のスポーツ推進委員活動のスポーツ普及についての協議

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	**B：有効性が認められる**	**B：効率性が認められる**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・市内公立保育所におけるスーパーキッズ育成カレッジは、昨年同様参加者から今後も継続希望の声多く好評であった。現在の対象は年長組に限定していることや、継続することにより子ども全体の運動能力向上とスポーツの習慣化が望めることもあり、継続実施が必要と考える。
・体力・運動能力調査「大人のスポーツテスト2022」は、個々の体力年齢を知ることにより健康な体づくりや体力向上に対する意識が高まると考えられるので、参加者の増加を図る必要がある。
・レッツエンジョイスポーツの参加者がある程度固定化している。
・スポーツ推進委員会議での検討・協議内容としては、アフターコロナを見据えた事業実施について検討していく必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑤更なる事業の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・体力・運動能力調査の参加者増加を図るため、広報、市公式ウェブサイト、SNS等を活用した情報発信を実施する。
・スポーツ推進委員会議で協議を行い、アフターコロナを見据えたスポーツイベントを実施する。
・スーパーキッズ育成カレッジは、令和5年度から子育て支援課で行う事業となるが、未就学児の運動能力向上及びスポーツの習慣化のため、当課としてもサポートし、継続的に実施していきたい。
・レッツエンジョイスポーツの実施時期や実施時間帯をいくつか設けることなどにより、より多くの人のスポーツをするきっかけづくりとなるような場を提供していく。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	市民のスポーツへの関心と意欲向上及び協議スポーツと青少年育成の推進に資する事業と認められる。引き続き、関係団体との連携によりスポーツ環境等の充実を図るとともに、幅広い世代にスポーツに取り組む機会が提供できるよう、市民ニーズの把握に努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	1	1	文化芸術	文化環境の整備
実施計画事業名					
新市民会館建設事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	07	新市民会館建設検討事業
担当課・係等				
企画政策課・政策推進室				

実施計画整理番号	
104010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	昭和42年に開館した中央公民館と昭和43年に開館した市民会館は、施設や設備の老朽化が進んでおり、市民の多様化したニーズへの対応に多くの課題が生じてきた。そこで、市民会館は平成31年3月に閉館としたが中央公民館においては継続して開館している。このため、平成29年度に基本構想、平成30年度に基本計画を策定し、文化芸術や市民等の交流の拠点となる新市民会館（複合施設）建設に向けての検討を進めた。	基本構想・基本計画を基に、民間事業者に対しサウンディングを行い、これを踏まえて、庁内で検討した結果、整備方式は従来方式と決定した。また、建設候補地として「市民会館・中央公民館敷地」と決定したが、令和元年10月25日の大雨による浸水被害を受けたため、建設候補地について改めて検討する必要が出来てきた。そのような状況を勘案し、総合計画における事業の位置づけを検討するとともに、建設に向け事業を継続していく。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	新市民会館に関する検討を進め、市民の文化活動や学習の場の提供に努めることで、施策「文化環境の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	269	803	736	2,000	829	705			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円		736	736	1,933	762	705			
	一般財源	千円	269	67	0	67	67	0			
	人工数	人	0.2			0.2					
	人件費	千円	1,513			1513					

手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
建設候補地の再検討を含め、建設に向けた検討回答を実施する。			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
文化芸術や市民の交流拠点としての新市民会館の建設に向けた検討を行う。			目標値				
			実績値				

活動指標の動向	成果指標の動向

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	1	1	新市民会館建設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	07	新市民会館建設検討事業

整理番号
104010101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

新市民会館に関する検討を進め、市民の文化活動や学習の場の提供に努めることで、施策「文化環境の整備」に寄与するため、旧市民会館の解体に向けた検討を行い、生涯学習課において令和5年度当初予算要求を行った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B：必要性が認められる	**C：有効性について検討が必要である**	**C：効率性について検討が必要である**

総合評価

C：成果を挙げることができなかった（目標・目的を達成していない）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・多額の予算がかかるため、財源確保の方策について検討する必要がある。また、建設候補地であった旧市民会館敷地が令和元年度の大雨災害による浸水を受けたため、県による河川改修工事の状況を注視しながら、建設に向けた検討を行う必要がある。
・旧市民会館については老朽化が進んでおり、早期の解体を検討する必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑥その他**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・新市民会館の建設に当たっては多額の予算を要するため、今後も茂原市民会館等建設基金への継続的な積み立てが必要となる。
・また、老朽化の進む旧市民会館については早期の解体が必要となるため、基金の活用も含めた財源の確保を行い、解体に向けた検討を進める必要がある。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	文化芸術や市民の交流拠点の創設に資する事業ではあるが、多額の資金が必要となるため、今後の方針について慎重に協議する必要がある。安全確保のための解体についても財政状況等を加味した上で検討いただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	1	生涯学習	芸術文化の振興
実施計画事業名					
文化祭開催事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	09	文化祭開催事業
担当課・係等				
生涯学習課　文化係				

実施計画整理番号	
104020101	
総合戦略整理番号	

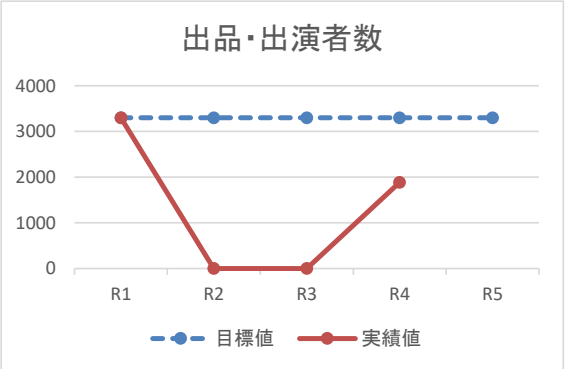
事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	文化活動の成果の発表の場を提供し、市民の文化意識の向上を図る。	茂原市文化協会との共催により文化祭を開催する。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	文化祭を実施することにより、市民の文化意識の向上を図り、ひいては施策「芸術文化の振興」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	371	371	77	371	371	359			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	371	371	77	371	371	359			
	人工数	人	0.5			0.6					
	人件費	千円	3,782			4,538					

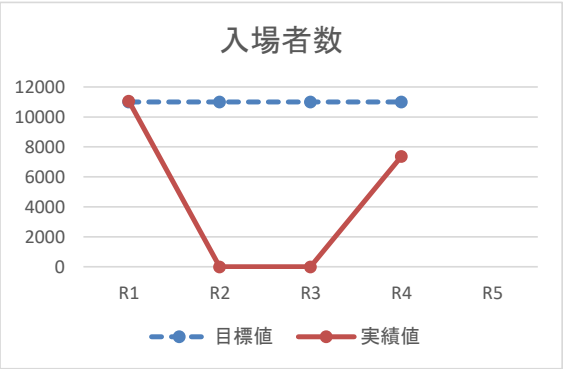
手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
美術館・郷土資料館ほか10会場にて開催する。	文化祭出品・出演者数	人	目標値	3,300	3,300	3,300	3,300
			実績値	—	—	1,885	
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
教育委員会と文化協会が共催することで、市民の芸術文化活動が推進されるとともに文化意識の向上が図られる。	文化祭入場者数	人	目標値	11,000	11,000	11,000	11,000
			実績値	—	—	7,370	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	2	1	文化祭開催事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	09	文化祭開催事業

整理番号
104020101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、規模を縮小したものの4年ぶりに文化祭を開催した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

会場を分散したことにより、感染症予防の対策は実施できたが来場者が減となってしまった。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

会場設定を見直し、1会場でなるべく多くの団体の発表が見られるよう工夫する。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	市民の文化意識向上に一定の成果を挙げていると判断できる。更なる意識向上のため、SNS等により活動の様子を発信するなど、工夫しながら事業を展開いただきたい。また、より多くの市民等に文化祭への興味関心を持ってもらうための情報発信に努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	1	文化芸術	芸術文化の振興
実施計画事業名					
美術館展示事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	01	美術館展示事業
担当課・係等				
美術館・郷土資料館 管理係				

実施計画整理番号	
104020102	
総合戦略整理番号	32301

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
芸術文化に触れ、鑑賞できる機会を広く市民に提供し、地域の芸術文化の充実と振興を図る。	地域ゆかりの作家の作品について周知を図るため、収蔵品展、企画展を開催する。令和5年度には、令和元年に寄贈を受けた鳥川誠一作品を展示に活用するため、企画展（仮称）鳥川誠一展を開催する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

美術品を収集し、研究した成果を展示に活用して、広く市民に公開することは、施策「芸術文化の振興」に寄与するものである。

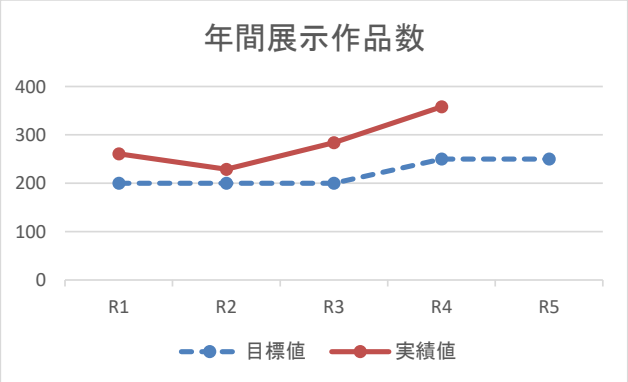
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度 計画	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 計画	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算
事業費		千円	359	359	351	69	69	69			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	359	359	351	69	69	69			
人工数		人	0.4			0.4					
人件費		千円	3,026			3,026					

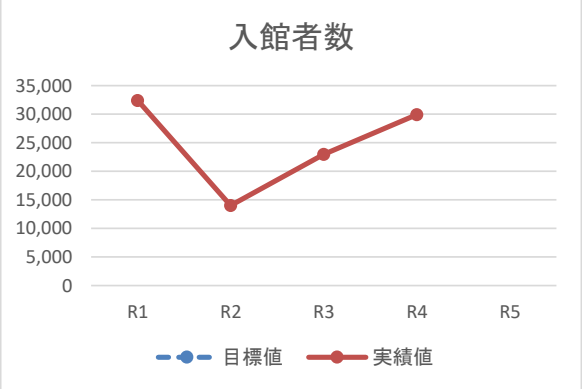
手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
美術収蔵品展、企画展等の開催により、美術収蔵品または他館の美術品を、広く市民に展示公開する。展示作品数を増加し、内容の充実した展示を開催することは、リピーターを含めた来館者の増加につながると考えている。	年間展示作品数	点	目標値	200	200	240	240
			実績値	229	284	358	
	バーチャルミュージアム映像配信数	回	目標値	1	5	8	7
			実績値	1	7	12	

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	3	5年度
市民が芸術文化に触れ、鑑賞できる機会が創出される。	年間入館者数	人	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値	14,017	22,968	29,926	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	2	1	美術館展示事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	01	美術館展示事業

整理番号
104020102

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・令和4年度は、文化祭の小中美術展示と、郡市小中学校作品展を除いて、すべての共催展示、収蔵品展を、例年どおり開催した。中止となった郡市小中学校展の期間に、美術収蔵品展を1回多く開催し、展示作品数は、増加する形となった。
・市制施行70周年記念として展示には力を入れ、「速水御舟展」、「林功展」また、同時開催として「文芸もばら表紙原画展」を開催し、当館コレクションの最も目玉となる作品を展示した。
・バーチャルミュージアムによる映像配信は、コロナ禍において、来館したくても来館できない方々への作品鑑賞の機会の一助として開始したが、将来的な来館者の増加につながるものと考え、配信回数を増加し、内容の充実を試みている。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B：必要性が認められる	**B：有効性が認められる**	**A：効率性が高い**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・市民美術展をはじめとする共催団体展、美術収蔵品展とも、一部を除いて計画どおり開催できた。前年度よりも入館者は増加しているが、コロナ禍前には及んでいない。
・コロナ禍の影響があるとはいえ、入館者数は徐々に戻りつつあり、市民に地域の芸術文化に触れる機会を提供できたことは、充分意義があると考えている。
・美術品の寄附も随時あり、受け入れた資料は展示に有効活用し、展示内容の充実につながっている。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑤更なる事業の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・展示作品数は、一つの指標であるので、目標どおり展示するが、リピーターや来館者の増加につなげるため、内容の充実及び展覧会名の工夫を図っていく。

・バーチャルミュージアムについては、共催展示団体についても作成・公開を行い、より内容を充実させ、情報を発信する。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	地域の芸術文化充実と振興に資する事業と認められる。引き続き、展示内容の充実及び開催手法の工夫を図るとともに、より効果的な周知を実施し来館者等の増加に努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	1	文化芸術	芸術文化の振興
実施計画事業名					
芸術文化講座事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	03	芸術文化講座事業
担当課・係等				
美術館・郷土資料館 管理係				

実施計画整理番号	
104020103	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
講座を受ける機会を広く市民に提供することで、市民が芸術文化と郷土の伝統文化に触れる機会を創出する。	美術実技講座・歴史セミナー・古文書講座を開催する。 また、小中学校への出前講座や、学校からの見学対応を行い、学校教育にも寄与する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

芸術文化、郷土の伝統文化について学習できる機会を提供することは、施策「芸術文化の振興」に寄与する。

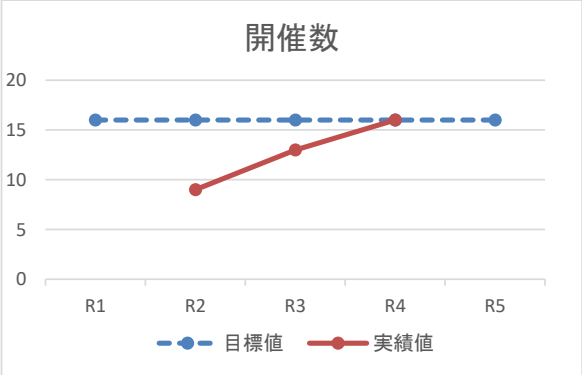
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度 計画	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 計画	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算
事業費		千円	96	96	83	96	96	96			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	96	96	83	96	96	96			
人工数		人	0.45			0.45					
人件費		千円	3,404			3,404					

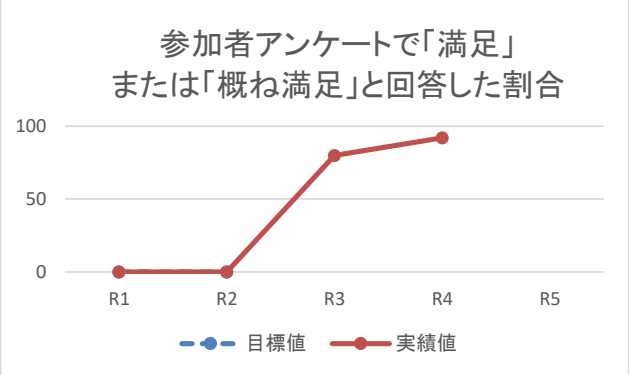
手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
美術実技講座4回、歴史セミナー3回、古文書講座9回、市史編さん事業講演会1回を開催し、広く市民に、芸術文化と郷土の伝統文化について学習できる機会を提供する。	開催数	回	目標値	16	16	16	16
			実績値	9	13	16	
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
市民が芸術文化と郷土の伝統文化に触れる機会を創出するとともに、芸術文化の振興が図られる。	講座の参加者アンケートで「満足」または「概ね満足」と回答した割合	%	目標値		増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値		80	92	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	2	1	芸術文化講座事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	03	芸術文化講座事業

整理番号
104020103

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

美術実技講座　計画どおり全4回を開催。
4回の合計定員33名程度のところ、合計参加者延べ33名　場所：美術館実習室
古文書講座　講師の都合により、全9回開催予定のところ8回開催。
毎回の定員は約30名。合計参加者延べ211名　場所：中央公民館
歴史セミナー　計画どおり全3回を開催。
3回の合計定員90名程度のところ、合計参加者延べ66名　場所：美術館実習室、中央公民館
市史編さん事業講演会　計画どおり1回開催。 定員約30名のところ、参加者25名　場所：中央公民館

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B：必要性が認められる	**A：有効性が高い**	**A：効率性が高い**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・新型コロナの感染拡大防止の観点から、美術実技講座においては、受講対象を市内在住在勤在学者に限定した。
・古文書講座、歴史セミナーについては、定員を維持するために、部屋の広い中央公民館に会場を移動して開催した。
・美術実技講座は、受講希望者が減少傾向にあるため、内容等に改善と工夫が必要である。
令和3年12月に故障した2階の空調は、機器の更新工事が完了したが、人数の多い講座は、中央公民館を会場とする体制を継続する。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**⑤更なる事業の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・感染症対策等については、状況に応じて対応を変更していく。
・参加者数の多い古文書講座、歴史セミナーについては、引き続き中央公民館を会場とする。
・美術実技講座については、過去に人気の高かった講座を開催するなど、参加者のニーズに応えた企画を行う。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	市民が芸術文化と郷土の伝統文化に触れる機会の創出に資する事業と認められる。引き続き、課題解決に取り組むとともに、市民の芸術文化に関するニーズを把握し、芸術文化の振興に努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	2	生涯学習	芸術文化の振興
実施計画事業名					
文化振興事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	08	文化振興事業
担当課・係等				
生涯学習課文化係				

実施計画整理番号	
104020201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
本市の文化振興を図るため、市民が身近に芸術文化を実践できるようにするとともに、生活する上で心の豊かさが育まれることを目指す。	・小中学校音楽鑑賞教室や芸術文化鑑賞会などの芸術文化事業を実施する。 ・各文化関係団体の活動を支援することで、組織の活動の強化を図る。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

文化関係団体等の活動を支援をすることで組織活動の強化を図るとともに、芸術文化事業を推進することにより、施策「芸術文化の振興」に寄与する。

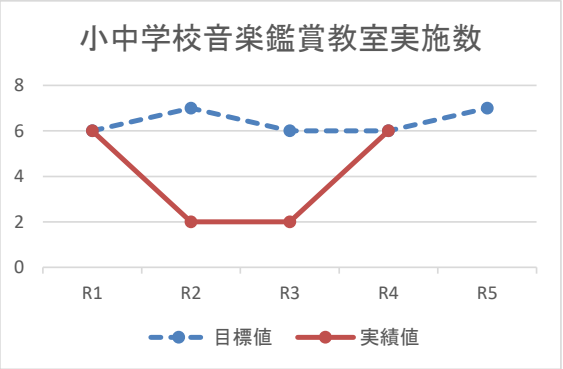
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度 計画	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 計画	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算
事業費		千円	3,758	3,758	979	3,758	3,758	3,268			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	2,359	2,358	197	2,359	2,358	1,958			
	一般財源	千円	1,399	1,400	782	1,399	1,400	1,310			
人工数		人	0.4			0.8					
人件費		千円	3,025			6,051					

手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
・小中学校音楽鑑賞教室の支援を行う。 ・各文化関係団体の活動を支援する。	小中学校音楽鑑賞実施校	校	目標値	7	6	6	7
			実績値	2	2	6	
			目標値				
			実績値				

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
市民が身近に芸術文化活動を実践できるようにするとともに、生活する上で心の豊かさが育まれることを目指す。			目標値				
			実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	2	2	文化振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	08	文化振興事業

整理番号
104020201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

小中学校音楽鑑賞教室をコロナ対策を行い予定全校実施することができた。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

芸術文化鑑賞会については行動制限により実施できなかった。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

芸術文化鑑賞会については、行動制限等の状況を鑑み、実施について適切に判断していく。

企画政策課の評価		評価理由
A	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	芸術文化事業の推進を図ることで、市民の身近な芸術文化活動の実践に資する事業と認められる。引き続き、各文化関係団体の活動支援及び小中学校音楽鑑賞教室の実施により、市民等の文化振興に対する意識向上に努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	3	1	生涯学習	伝統・文化の維持継承・振興
実施計画事業名					
文化財保護保存事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	10	文化財保護保存事業
担当課・係等				
生涯学習課文化係				

実施計画整理番号	
104030101	
総合戦略整理番号	32302

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
文化遺産である文化財を後世に伝え、有効活用することにより、市民の文化財に対する理解が深まり、郷土愛が高まることを目指す。	茂原市文化財審議会の開催、指定文化財等の保護保存、郷土芸能等保存団体の活動支援を行う。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

文化財審議会を開催し、指定文化財等の保護・保存を行うことにより、施策「伝統文化の維持継承・振興」に寄与する。

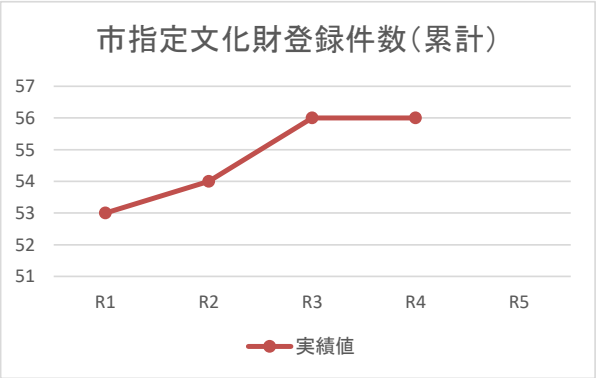
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度 計画	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 計画	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算
事業費		千円	1,544	2,039	1,544	1,038	972	857			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	328	328	35	8	8	41			
	市債	千円									
	その他	千円	60	60	108	60	60	87			
	一般財源	千円	1,156	1,651	1,401	970	904	729			
人工数		人	1.4			1.4					
人件費		千円	10,588			10,588					

手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
・文化財審議会の開催 ・指定文化財等の保護・保存	文化財審議会の開催数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	
	市指定文化財登録件数（累計）	件	目標	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値	54	56	56	

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
市民の文化財に対する理解が深まり、郷土愛が高まることを目指す。			目標値				
			実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	3	1	文化財保護保存事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	10	文化財保護保存事業

整理番号
104030101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

茂原市文化財審議会の開催、指定文化財等の保護保存活動、特に外来生物の駆除を行った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

A：十分な成果を挙げた（目標・目的を達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

指定文化財等の保護保存活動において、特に外来生物による被害は深刻であり引続き注意を払う必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
A：計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・外来生物の駆除については、地元協力者と連携しながら、環境整備に努める。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	市民の文化財に対する理解度及び郷土愛の向上につながる事業と認められる。一方で、活動内容や文化財等に関する情報発信を強化・工夫することで、市民全体の意識向上に努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	3	2	文化芸術	伝統・文化の維持継承・振興
実施計画事業名					
郷土資料館展示事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	02	郷土資料館展示事業
担当課・係等				
美術館・郷土資料館管理係				

実施計画整理番号	
104030201	
総合戦略整理番号	32303

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
市民が歴史文化に触れ、学習できる機会が創出されるとともに、地域の伝統文化の振興を図る。	郷土の歴史について周知を図るため、地域の主な遺跡の出土品を中心とした常設展示の他、市史編さん事業での調査の成果を含めて歴史・民俗資料を活かしたテーマ展を開催する。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

市史編さん事業での資料調査等から発見された考古・歴史・民俗等の郷土資料を収集し、研究した成果を活用して、広く市民に公開することは、施策「伝統文化の維持継承・振興」に寄与するものである。

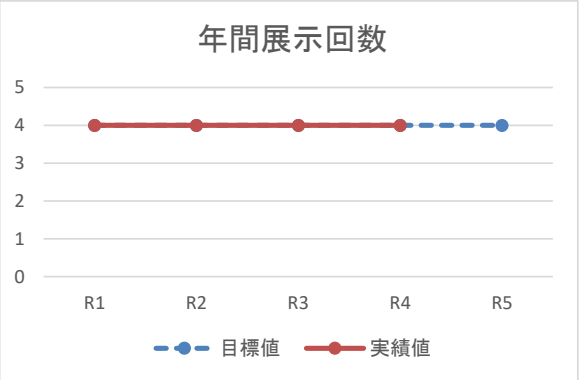
投入される行政コスト（DO）

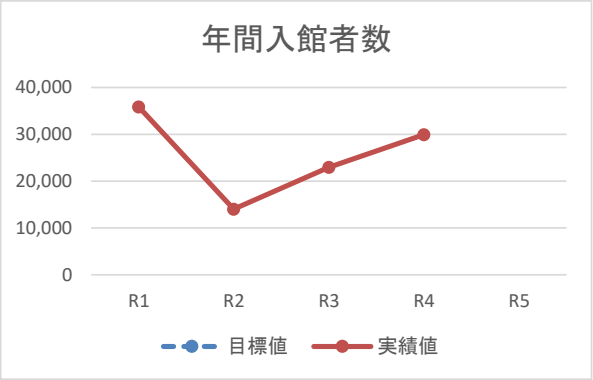
区分		単位	令和3年度 計画	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 計画	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算
事業費		千円	23	23	23	23	23	23			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	23	23	23	23	23	23			
人工数		人	0.4			0.4					
人件費		千円	3,026			3,026					

手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
市史編さん事業や郷土資料館事業の中で収集した茂原に関する資料を広く市民に展示公開し、また、出前講座や学校の課外授業等を呼び込むことで来館者の増加に努める。	年間の展示回数	回	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	
	出前講座・課外授業の回数	回	目標値	3	3	3	3
			実績値	4	2	3	

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
市民が歴史文化に触れ、学習できる機会が創出されるとともに、地域の伝統文化の振興を図る。	年間入館者数	人	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値	14,017	22,968	29,926	

活動指標の動向





令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	3	2	郷土資料館展示事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	02	郷土資料館展示事業

整理番号
104030201

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・郷土資料館では、予定どおり、テーマ展や常設展を開催し、歴史セミナーや、市史編さん事業講演会も実施し、市民に歴史に触れる機会を提供できた。古文書講座については、9回中8回実施することができた。また、学校からの見学対応や出前講座もコロナ対策をとりながら行った。
・PR活動については、美術館の活動同様、市公式ウェブサイトや広報もばら、地域情報誌、各新聞社等に情報を発信している。
・郷土資料館では、コロナ禍の影響を受けながらも、市民への歴史文化に触れる機会の提供として、市史編さん事業展示、通常のテーマ展、常設展、出前講座等を予定どおり開催した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B：必要性が認められる	**B：有効性が認められる**	**A：効率性が高い**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・課題としては、限られたスペースの中で、収集した資料をより効果的に公開するための工夫が必要である。
・コロナ禍の影響があり、入館者数は回復傾向にあるものの、まだ伸び悩んでいるのが現状であるが、国の新型コロナ対策が緩和していく中で、外出する人も増え、来館者増につながっていくと思われる。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**③連携・協働の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

収集した資料を効果的に公開するために、展示用ケースやパネルの購入を検討するとともに、空いている展示室等の有効活用を図るなどの工夫を実施していく。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	市民が歴史文化に触れ、学習できる機会の創出に資する事業と認められる。引き続き、来館者増加のための課題解決に取り組むとともに、来館者のニーズを把握し地域の伝統文化の振興に努めていただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	3	2	文化芸術	伝統・文化の維持継承・振興
実施計画事業名					
市史編纂事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	07	市史編纂事業
担当課・係等				
美術館・郷土資料館管理係				

実施計画整理番号	
104030202	
総合戦略整理番号	32304

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
市制70周年（令和4年度）から市史の刊行を開始し、茂原市の歴史的変遷を明らかにしていくとともに、郷土愛を育み、後世に市の歴史を継承する。	市史編さん委員会の開催、市の内外にある茂原市に関する歴史民俗資料の調査、市史の原稿執筆依頼、調査報告書の印刷、及び市史の刊行を行う。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

市制施行70周年を記念して令和4年度に新しい市史の1冊目を刊行し、2冊目以降も今後順次刊行する。調査・研究の成果を市史に掲載して広く市民に公開することは、施策「伝統文化の維持継承・振興」に寄与するものである。

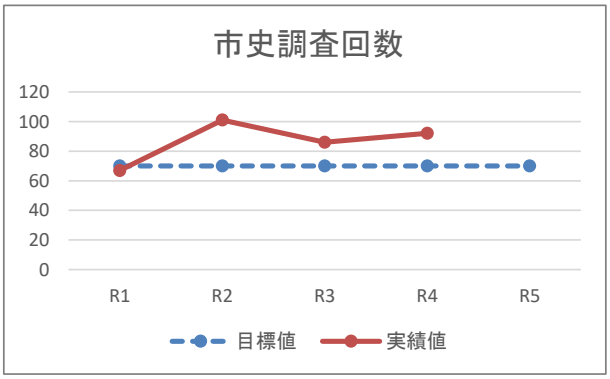
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度 計画	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 計画	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 計画	令和5年度 予算	令和5年度 決算
事業費		千円	4,843	4,700	3,682	11,314	8,034	5,801	4,463	3,499	
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	10	10	11	10	10	24	10	10	
	一般財源	千円	4,833	4,690	3,671	11,304	8,024	5,777	4,453	3,489	
人工数		人	2			2					
人件費		千円	10,402			10,402					

手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
令和4年度に1冊目の『茂原市史資料編Ⅰ（原始・古代、中世考古』を刊行した。引き続き2冊目以降の刊行に向けて、調査、原稿の編集作業等を進めていく。	市史編さん委員会回数	回	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	3	4	
	調査回数	回	目標値	70	70	70	70
			実績値	101	86	92	

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
市民の郷土愛を育み、後世に市の歴史を継承していく。	計画的に茂原市史を刊行していく。		目標値				
			実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	3	2	市史編纂事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	07	市史編纂事業

整理番号
104030202

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・市史編さん委員会を開催し、令和4年度刊行の1冊目 茂原市史資料編の編集、校正等を含め、刊行までの作業を行った。
・2冊目以降の刊行に向けては、コロナ禍の影響により、大規模な調査は自粛したが、公共機関、市内、当館内収蔵資料の調査を中心に進めた。また各部門の会議はリモートを活用しながら、順次作業を進めた。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	**B：有効性が認められる**	**B：効率性が認められる**

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

・市制施行70周年を機に、新たな市史の1冊目を刊行できたことは、後世に本市の歴史を継承していくために有意義であった。
・2冊目以降も、市史編さん委員会で決定した刊行計画に添って着実に市史を刊行していく必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	**③連携・協働の推進**

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

・刊行計画に沿った市史刊行のため、引き続き企画財政部局と協議していく。
・当館で収蔵している資料のほか、寺社や公共機関等協力者と連携しながら、引き続き市史調査を計画的に実施していく。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	市民の郷土愛の醸成に資する事業と認められる。引き続き、市史調査を計画的に実施するとともに、市史の刊行に向けて、関係部局との協議も重ね財源確保の手法にも調査・研究いただきたい。

令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	1	1	青少年健全育成と家庭教育	青少年健全育成の充実
実施計画事業名					
青少年健全育成事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	04	青少年健全育成事業
担当課・係等				
生涯学習課社会教育係				

実施計画整理番号	
105010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要（PLAN）

事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
青少年育成団体を支援することで、多くの青少年に活躍の機会が提供され、青少年の健全育成が図られることを目指す。	青少年育成団体（青少年相談員連絡協議会、青少年育成茂原市民会議、茂原少年少女発明クラブ、茂原市子どもセンター協議会）に補助金を交付するとともに、事務局として運営を支える。

基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）

青少年の育成は地域全体で行っていく必要がある。各種団体の支援を通じて地域住民と連携することにより青少年の健全育成を図り、ひいては施策「青少年健全育成の充実」に寄与する。

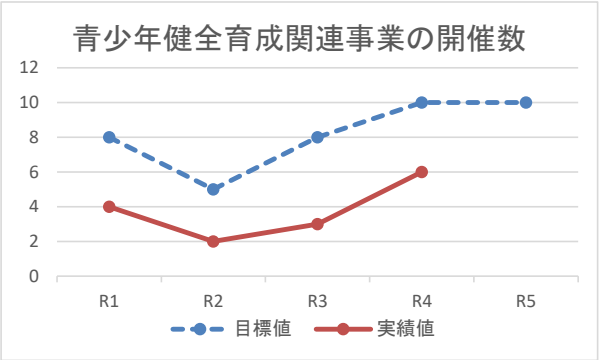
投入される行政コスト（DO）

区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費		千円	2,364	2,308	2,170	2,303	1,838	1,830			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	370	370	370	360	360	355			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,994	1,938	1,800	1,943	1,478	1,475			
人工数		人	1.05			1.05					
人件費		千円	7,942			7,942					

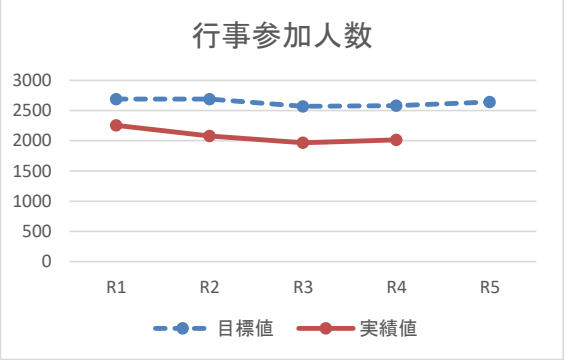
手　段（DO）	活動指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
青少年育成団体の活性化を図るため、補助金交付により財政面を、生涯学習課が事務局を担うことにより運営面を支援する。 また、青少年を取り巻く諸問題について青少年問題協議会で情報交換を行う。	活動を支援した団体数	団体	目標値	4	4	3	3
			実績値	4	4	3	
	青少年健全育成関連事業の開催数	回	目標値	5	8	10	10
			実績値	2	3	4	

成　果	成果指標	単位		2年度	3年度	4年度	5年度
行事の実施により、多くの青少年に活躍の機会が提供され、青少年の健全育成が図られる。	行事参加人数	人	目標値	2,690	2,570	2,580	2,640
			実績値	2,080	1,967	1,879	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度　3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	5	1	1	青少年健全育成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	04	青少年健全育成事業

整理番号
105010101

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

・青少年の健全育成を図るため、関係団体に補助金を交付し活動を支援した。
①青少年相談員連絡協議会　722千円（実施：写真コンテスト、夜間パトロール等）
②青少年育成茂原市民会議　986千円（実施：標語コンクール、少年の主張大会等）
③茂原少年少女発明クラブ　30千円
・青少年問題協議会を開催（1回）

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A：必要性が高い	A：有効性が高い	A：効率性が高い

総合評価

B：ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

各団体の事業や行事は、コロナ禍等により中止したものも一部あったが、感染症対策を十分に行うことで概ね実施できた。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B：事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決 していくのか）

既存行事について、青少年育成における実効性や効率性の観点から内容等を見直し、充実化を図っていく。

企画政策課の評価		評価理由
B	A：計画どおり事業継続が適当 B：事業改善の検討が必要 C：事業の休止・廃止の検討が必要 D：事業終了が適当	多くの青少年への活躍機会の提供及び青少年の健全育成に資する事業と認められる。引き続き、関係団体との連携強化を図るとともに、随時行事の見直しを検討し青少年育成の充実化に努めていただきたい。